

決 算 報 告 書

令和7年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	25,993	28,091	2,098	(注 1)
うち補正予算による追加	－	1,022	1,022	
施設整備費補助金	3,611	3,174	△ 437	(注 2)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	6,014	9,650	3,636	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	28	28	－	
自己収入	46,568	47,707	1,139	
授業料, 入学料及び検定料収入	8,402	7,574	△ 828	(注 4)
附属病院収入	37,505	39,164	1,659	(注 5)
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	661	969	308	(注 6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,623	12,697	4,074	(注 7)
引当金取崩	524	537	13	(注 8)
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	1,774	2,381	607	(注 9)
計	93,135	104,265	11,130	
支出				
業務費	74,089	76,382	2,293	(注10)
教育研究経費	35,959	37,758	1,799	
診療経費	38,130	38,624	494	
施設整備費	3,638	3,202	△ 436	(注11)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	5,636	8,366	2,730	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,623	11,207	2,584	(注13)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	1,149	1,149	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	93,135	100,306	7,171	
収入 － 支出	－	3,959	3,959	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、前年度からの繰越及び教育・研究基盤維持経費などが追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が2,098百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた計画の変更及び一部事業の翌事業年度繰越により、予算額に比して決算額が437百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、新規採択等が予算段階の見込額を上回り、予算額に比して決算額が3,636百万円多額となっています。なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が1,371百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免費交付金が予算段階の見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が828百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、高額注射薬等の増及び手術単価の増に伴う診療単価の増等により、予算額に比して決算額が1,659百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、主として、機器利用料等収入の増等により、予算額に比して決算額が308百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的な獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が4,074百万円多額となっています。
- (注 8) 引当金取崩については、予算段階の見込額より取り崩しが多かったため、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注 9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が607百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、運営費交付金の追加交付により教育研究経費が増になるとともに、高額注射薬による医薬品費及び特定保険医療材料費の増等により診療経費が増となったため、予算額に比して決算額が2,293百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が436百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,730百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注 7)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,584百万円多額となっています。